



TONARI GUMI

Newsletter

WEBSITE:
www.Tonarigumi.ca

EMAIL: info@tonarigumi.ca
PHONE: 604-687-2172

会員の皆様、ボランティア、隣組の支援者の方々へ、



隣組 パンデミック下 五ヶ月間の試み

対面でのプログラムの再開はまだまだ未定ではありますが、隣組のスタッフとボランティアは積極的に活動を続けています。現在 有馬正子、柿沼久美、田中法子の三名が隣組の固定スタッフとして活動しております、とても残念なことに、他のサポートスタッフは一時的に担当を外れております。今後新型コロナウイルスに関する規制がさらに緩和され、サポートスタッフが復帰し、多くの活動やプログラムが再開されることを願っています。

多くの方がご存知の通り、いくつかの活動はすでに Zoom を通してオンラインで再開されています。定例の“隣組ラウンジ”は金曜日開催されており、スタッフが政府発表の最新情報を、Masako がオンライン体操をみなさまに提供しています。

隣組ラウンジに登録される方は ed@tonarigumi.ca までお知らせください。また英語話者のための同様の Zoom 活動として、“隣組カフェ”も始めました。興味のある方は development@tonarigumi.ca より登録してください。

電話友達による定期的なシニアとの会話、和食弁当の配達 (meals-on-wheels) は現在も継続中です。運営資金に関しましては、隣組プログラムの休止、資金調達活動のキャンセルや延期により、負の影響も出ていますが、今までは Vancouver Foundation による2万5千ドルのコミュニティ支援資金など緊急時助成金を活用しております。下記の記事にもある通り、“Facemasks for Donations” キャンペーンも順調に進行中で、隣組資金にプラスになっています。ありがたいことに、多くの方々が隣組を引き続き支援くださっており、最近では、Tom Kusumoto 氏に多大なご寄付をいただきました。政府の規制緩和が発表され次第、隣組の活動およびサービスの再開と、さらなるサービスの拡大に力を添えてくださることでしょう。みなさまの寄付に心より感謝申し上げます。隣組は、このような大変な時期に支援を必要としている方に手を差し伸べるため、今後も尽力いたします。

隣組年次総会の報告

6月6日(土)に、隣組は初めての Zoom によるオンライン年次総会を開催しました。スタッフの頑張りや多くのメンバーの厚い支援の甲斐あって、30人以上のオンライン参加者および26人の委任投票により会計報告と理事会役員の選出を行いました。年次報告の詳細については、以下のリンクよりご確認ください。

http://www.tonarigumi.ca/wp-content/uploads/2020/05/0-AGM-2020_Anuual-Report_Final.pdf

理事会役員の新しいメンバーのプロフィールは、隣組ウェブサイト下記リンクにてご覧いただけます。

<http://www.tonarigumi.ca/home/board/>

新規理事会役員として、Lisa Hirose-Cameron、Makoto Inuzuka 両氏が選出されたことをお知らせいたします。お二人の参加により、理事会に新しい力が吹き込まれることでしょう。また前年度から継続の役員、Michael Beaty、Tamako



Copithorne、David Iwaasa、Martin Kobayakawa、Kanao Motohashi は、引き続き2年任期で再選されました。また、二期4年間に渡り理事会役員として活躍いただいた Karen Nishi 氏は今期でリタイアされることとなりました。4年間どうもありがとうございました。

この度の年次総会により、隣組は新型コロナウイルス感染症パンデミックにより数々の難題に直面していますが、総じて財政的に安定しており、現在の規制が緩和された際には、シニアメンバーへの支援拡大にん向けて準備が進んでいることが確認できました。また、

隣組は、BC 州およびカナダ国内在住のシニアへのケアの質と安全性の向上に取り組んでいきます。今後、現在の状況を改善し、隣組コミュニティのシニアやお世話する方々の要望に今以上応えていくにはどうすればいいのか、隣組メンバーに意見を求める予定です。



Facemasks for Donations Campaign



5月中旬から始まった“Facemasks for Donations”キャンペーンは、多くの方々からのご支援によってとても順調に進行中です。このキャンペーンにより、5月末の時点で5,000ドルを超える寄付金が集まっています。その感謝の印として、すでに146個の隣組特製マスクがご寄付頂いた方々に発送されています。ご協力くださったたくさんの方々から心からお礼申し上げます。また、この隣組特製マスクを手作りしてくれているボランティアへも感謝の気持ちでいっぱいです。

マスク作りボランティアのメンバーは、Jane Iwaasa、Donna Deyell、Shelley Kutney、Sharon Hara の4名で、55歳以上のシニアのメンバーですが、とても素敵なマスクを手作りするために長い時間を割いてくれています。6月30日までキャンペーンに参加くださった方々へは、この隣組特製マスクを無料で差し上げます。ぜひ下記リンクより隣組のマスクキャンペーンにご支援ください。隣組が、感染症パンデミック時の安全対策、ステイホーム・外出自粛要請により孤立してしまった方々へこれからも支援していけるのは、みなさまからの寄付のおかげです。



Shelley Kutney



Jane Iwaasa



Sharon Hara



Donna Deyell

Zoom ブーム到来！

堪え難い孤独というのは、認知機能の低下、血圧の上昇、心臓発作などの深刻な健康状態の悪化を引き起こします。もちろん、電話は家族との交流に役立っていますが、親しい人の顔を映像で見ながら会話できれば、情緒の安定や、ひいては不安感やストレスの緩和につながります。気軽に楽しい！隣組 Zoom チャットの操作を学べば、友達、子供、孫たちとも繋がることのできるんです。世界が広がりますよ！

以下は、隣組主催の Zoom での活動です。

TG ラウンジ詳細：<http://www.tonarigumi.ca/tglounge-in-zoom>

ライフセミナー詳細：<http://www.tonarigumi.ca/tg-senior-life-seminar>



隣組 Zoom ラウンジ

先月から隣組のメンバーは Zoom で連絡を取り合っています。参加者メンバーのみなさんからの意見・感想はとてもためになります。なんと、今回の参加者メンバー全員、隣組が Zoom ラウンジを開設するまで、Zoom 未経験者だったのです。今では Zoom をいろいろなことに活用しています。

Zoom についてどう思うかという質問には、次のような答えが返ってきました。

「友達の顔が見られるのがよかった。」

「夫と二人きりで家にこもっているから、他の人と顔を合わせて話せるのがうれしかった。」

「私はズームでフラダンスレッスンや、セミナーやコースをとっています」。

世界各国に在住の親戚とズームで連絡を取り合う人や、日本とカナダの時差に四苦八苦しながらも、ズームでの集まりに参加して楽しんでいる人もいます。

隣組 Zoom カフェ英語版

5月28日に初めての隣組 Zoom カフェ英語版がオープンしました。主催は David Iwaasa で、13名のメンバーが Zoom にて近況を報告しあいました。Zoom カフェはパンデミック下において、近況を尋ね合い、隣組の最近の活動状況を知るとも良い機会となりました。Keiko Funahashi と Masako も参加し、リッチモンド／サレーの現在の状況や活動などについて教えてくれました。ぜひ次の隣組 Zoom カフェ英語版をお見逃しなく！

この機会にぜひ！ 隣組 Zoom への参加は、こんなに簡単です！

Zoom での集まりに初めて参加する方へ

参加方法がわかりにくい、または操作にお困りの方は、まず下記のビデオをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=9isp3qPeQOE> (英語)

<https://www.youtube.com/watch?v=pWmQ-T0GO0g&t=80s> (日本語)

ビデオでは

- 送られてくる Zoom アクセス情報(招待状)についての説明
- 無料 Zoom アプリのダウンロードの仕方
- アクセス情報を使って参加する方法
- ビデオの開始・停止機能
- マイクのオン・オフ機能

が詳しく説明されています。

この8分間のビデオをご覧になれば、すぐに Zoom を使ってオンラインで家族・友人と繋がることができます！

Minna no Tsudoi and the Japanese News Channel recognized by United Way! (Mayumi to end)

サレーで活動するジャパニーズ・ニュース・チャンネルと隣組のケイコ フナハシが Healthy Aging CORE の e-newsletter に掲載されました。



2020年4月にスタートしたテレフォンミーティングは、毎週火曜日の午後1時に開催されます。アキコもこのミーティングの参加者のひとり。参加者は自宅から安全に地域や社会の人々と繋がる事が出来るのです。「毎週グループのメンバーの声を聞くことができ、私達は“一緒にいる”と感じられる楽しいひと時です」

ジャパニーズ・ニュース・チャンネルはこれまで**みんなの集い**が提供してきた電話を使った参加型アクティビティです。日本語の週刊新聞紙が発行を終了した今、情報源を失った日系1世の皆さんにジャパニーズ・ニュース・チャンネルは、歌を唄ったり、疑問の解決、楽しいことを共有する他に、新型コロナウイルスに関する最新情報を日本語で提供するなどの活動をしています。そして何よりも大切なことは、社会との繋がりを持ち続けるお手伝いです。

隣組の協力の元、ジャパニーズ・ニュース・チャンネルは、サレーを中心に活動する他団体と共に文化の違いなどを越えた“シニアの社会との繋がり”をサポートします。

関連組織/プログラム

United Way Better at Home

Seniors Come Share Society

The Seniors' Centre Without Walls program

Surrey Intercultural Seniors Social Inclusion Partnership (SISSIP) Network Project

興味のある方は以下の URL から詳細をどうぞ！

<https://healthyagingcore.ca/programs/japanese-news-channel>

Celebrate Canada Historic Places – 6月4日スタート!
この夏は遠出ではなく、地元の歴史を探す旅に出ませんか...



新型コロナウイルスの流行を受け、海外旅行には規制や制限がある中、今年の夏は近隣への旅行や自転車や車で過ごすことが推奨されます。これを受けて、Local Historic Places、例えば日系カナダ人の歴史、特に市街地から離れたエリアの歴史を探ることは観光事業の復活を後押しするだけでなく、あなた自身の大きな気付きとなるでしょう。日系カナダ人の歴史における重要な場所の多くは、高速道路に印が付けられています。また National Trust は今夏 Historic Places Day を延長しています。

何がこのサイトの素晴らしいポイントなのか？は、Japanese Canadian History などのキーワードから検索してみてもいいでしょう。また historicplacesday.ca のリンクであなたの近くの歴史スポットが見つかるでしょう。是非この WEB サイトから豊かで美しい BC 州の歴史スポットを見つけてください。

例えば、

Steveston Museum – 1905 年に建てられたスティーブストンにある銀行第 1 号、スティーブストンビレッジに暮らした人々暮らしや漁師たちのコミュニティなどを発見できるかも。

Mission Museum – The Lost Pioneers (初期の日系カナダ人の生活や活動、そして第二次世界大戦を機になくなった日系人) についての展示は素晴らしいです。

Sunshine Valley Tashme Museum - 第二次世界大戦中、日系人は 10 箇所の収容キャンプと 7 箇所の自営施設に強制的に移住させられました。Tashme はその中でも最大規模の場所です。

2000 平方フィート (186 平米) の展示エリア内には当時の生活道具などの展示と共に、実際に日系人が暮らした掘っ建て小屋のレプリカが再現されています。



今月の TG ニュースレターのボランティアは・・・
マキコ、マユミ、デイビッド、ユミコとナホでした。



TG ニュースレターの技術サポートをして頂いている Michael Beaty にこの場を借りてお礼申し上げます。私達同様に、彼も理髪店がオープンしスッキリするのを楽しみにしています！

マイケル、ありがとう!!

コロナ前のマイケル



最近のマイケル



このニュースレターや隣組 Web サイトの情報を友達やご家族の皆さんと共有してみてください。皆様のお役に立てれば幸いです。

<http://www.tonarigumi.ca/>